

伊藤ゆみ

実録!!

ほんとにあつた

怖い話 ①

〜盗人の怪談〜



誰か機心がある

この家のユリアから、
なぜこんなバカな!?
のうんちも



伊藤 伸也

伊藤先生のダンシナ様が、ある知人の話を始めます……

——とある日

なあ お前も
山中さんって
知ってたよな

山中さんというのは
夫が仕事でつき合いの
ある工務店の
社長さんなのですが

うん

こないだ山中さん
新しい事務所
買ったんだけど

その屋上に
祠ほくらがあつてさ

ところがあの人
霊とか宗教とか
全然信じない人で

邪魔だから自分で
壊して撤去するって
言い出して家族や
社員があわてて止め
たんだって

うわー強烈

結局みんな
なだめすかして
神主さんにお祓い
してもらってから
撤去すること
になったらしいけど

それってお祓い
なんかしていいの
かな？

え？

その時何かとても
いやな感じが
しました



そ…そういう
もんなのか？

だって何が祀って
あるかわからない
んでしょ

もし何か悪いものを
封じてあるとか
押さえてあるとか
だったら安易に
祀っちゃまずいでしょ

よくわからない
けどなんかそんな
気がする……

私は霊能者さんのように
具体的なことが解る
わけではないのですが
時々「なんか危ない」
とか「いやな感じがする」
ということがあり

そう感じた時 自分では
なるべく「近づかない」または
「その行動をとらない」ように
しているのですがなにぶん
あやふやなものなので
他人に忠告できるような
ものではないのです



しかし数日後

トーン

お…お前の
言うとおり
だった……

え？

あのあと
神主さんに
来てもらった
らしいんだけど

結局神主さんも
ここに何が入っているか
わからないから

自分では手が
つけられないって
何もしないで帰っ
ちゃったんだって

そっかー

でもさ

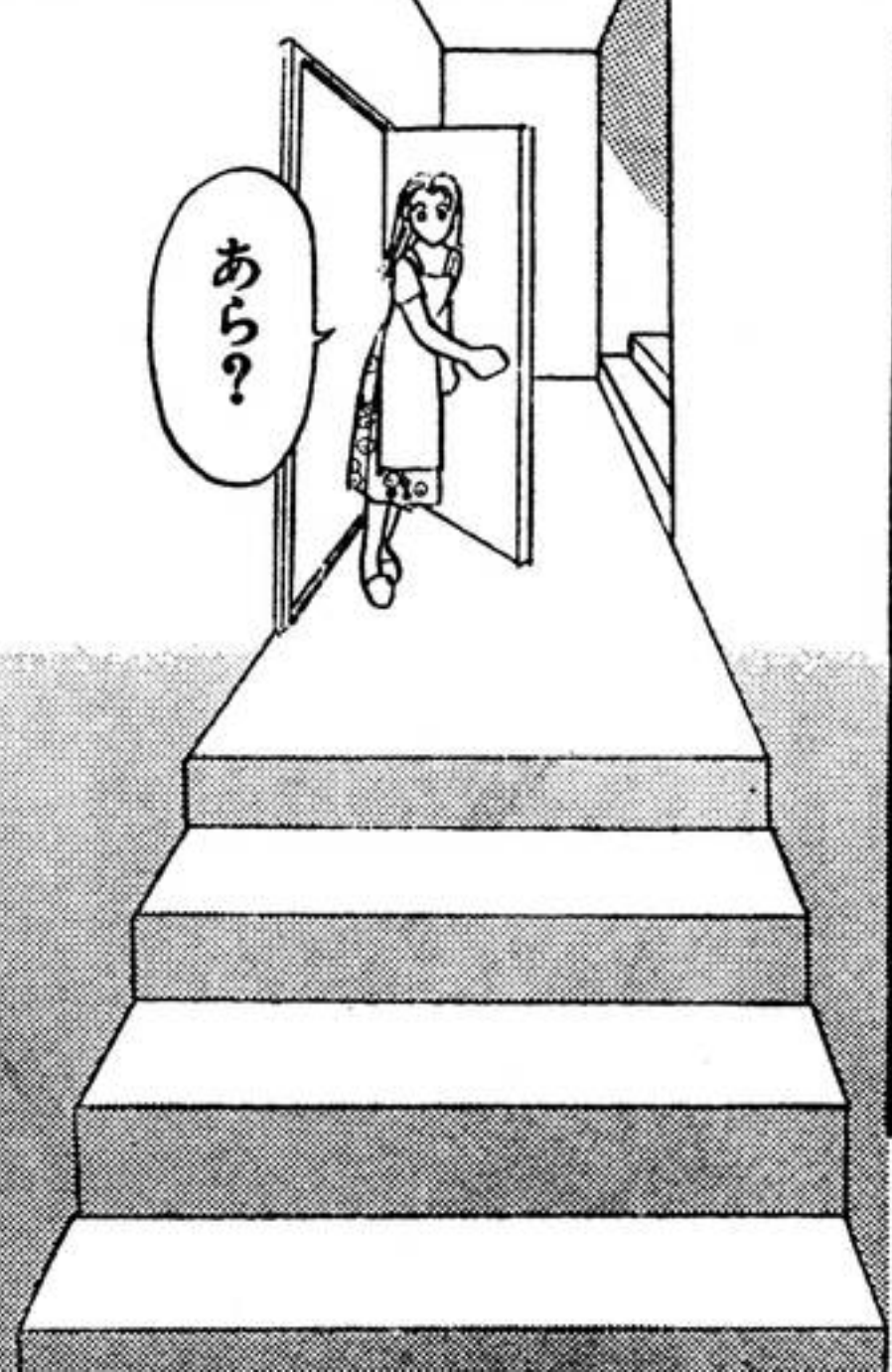
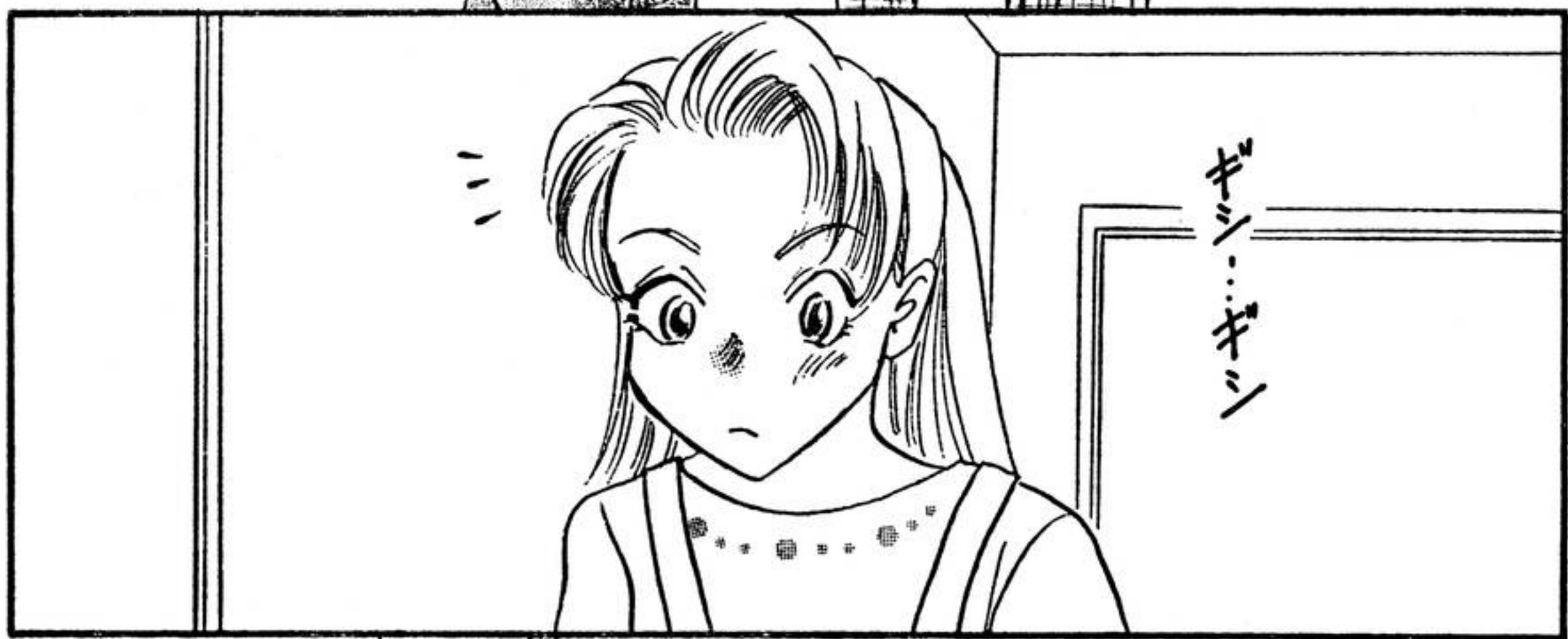
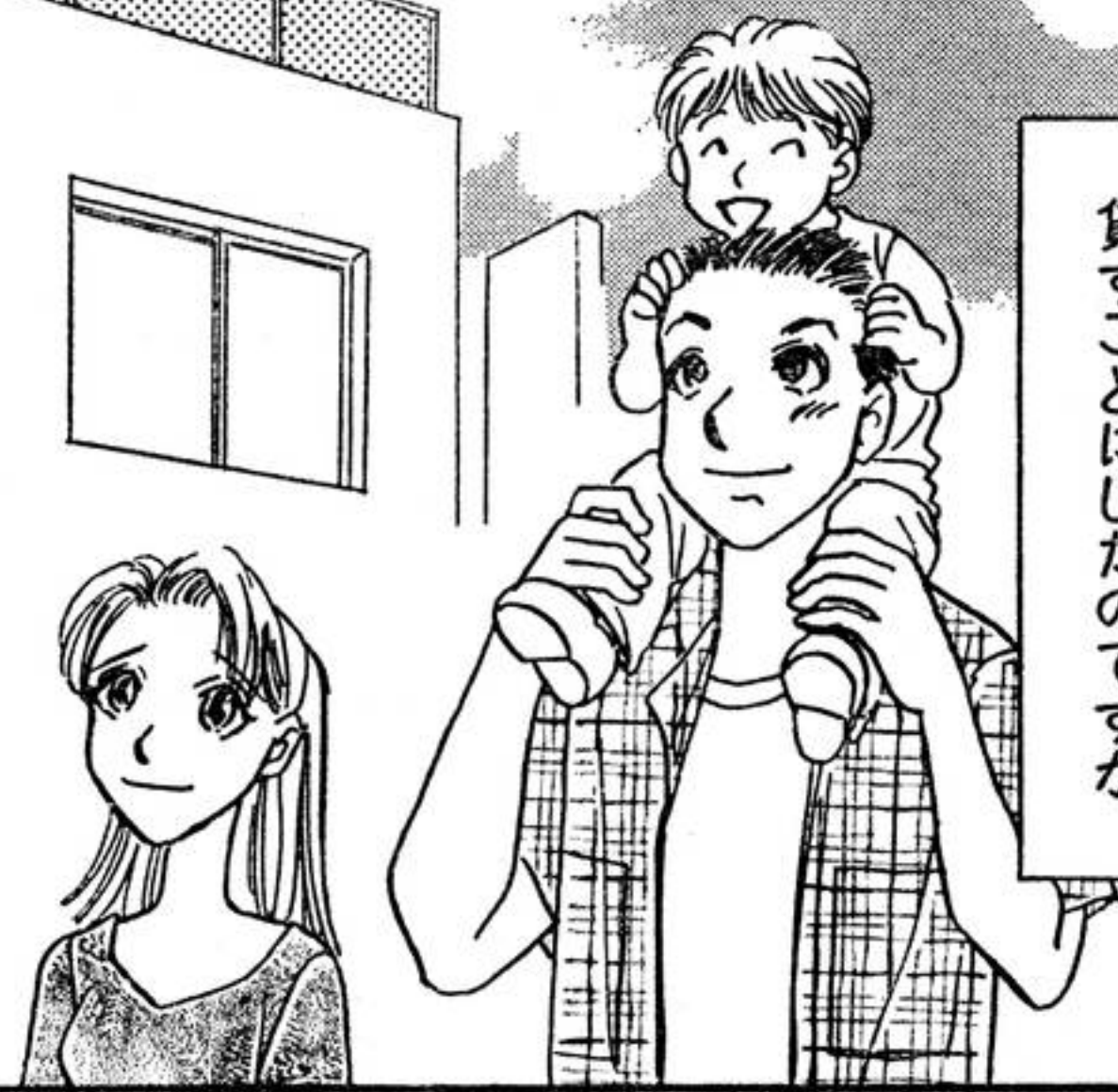
そんな何が祀って
あるかわからない
祠が自分の側に
あるなんてなんか
やだよなー

そうだね……

しかし話は
ここで終わり
ませんでした

その後 山中さんは
一階を事務所に
して

二階を弟さん夫婦に
貸すことにしたのですが



そんなことが
続いたころ

気のせいだった
のかしら

またあ?

どうしたのかな
今まで夜泣き
なんてなかった
のに

よしよし
どうしたの??

わあーん

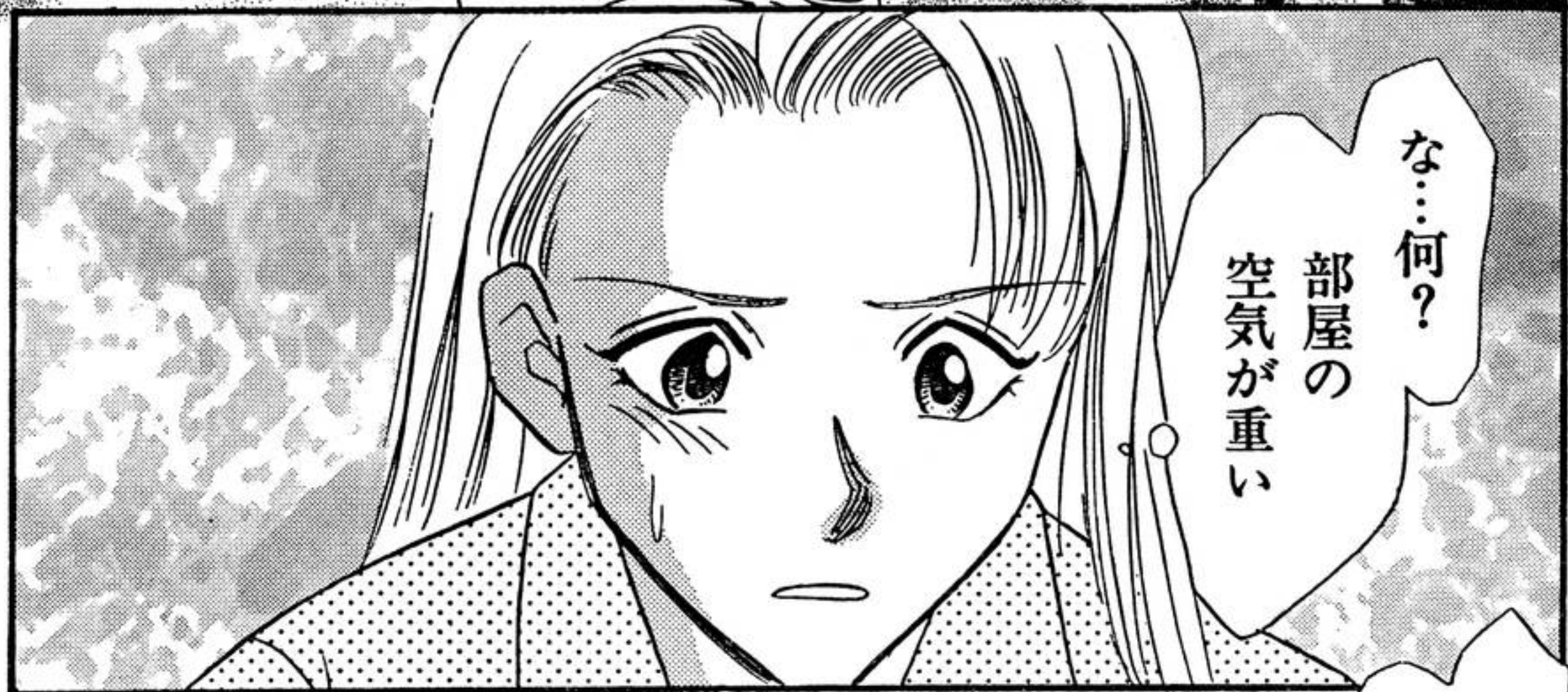
怖い怖い

ママ
怖いよー!!

な...何が?



え!?

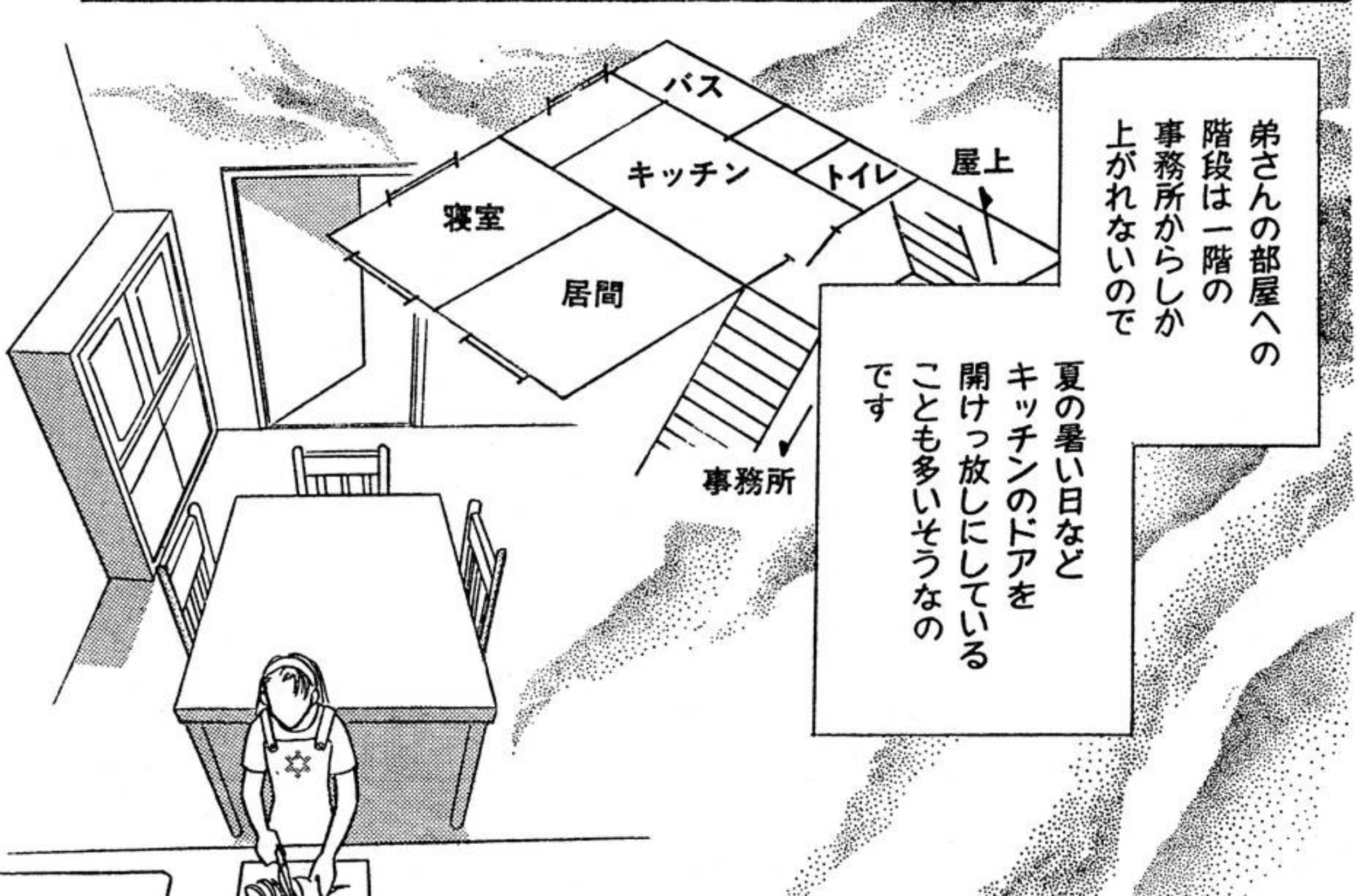
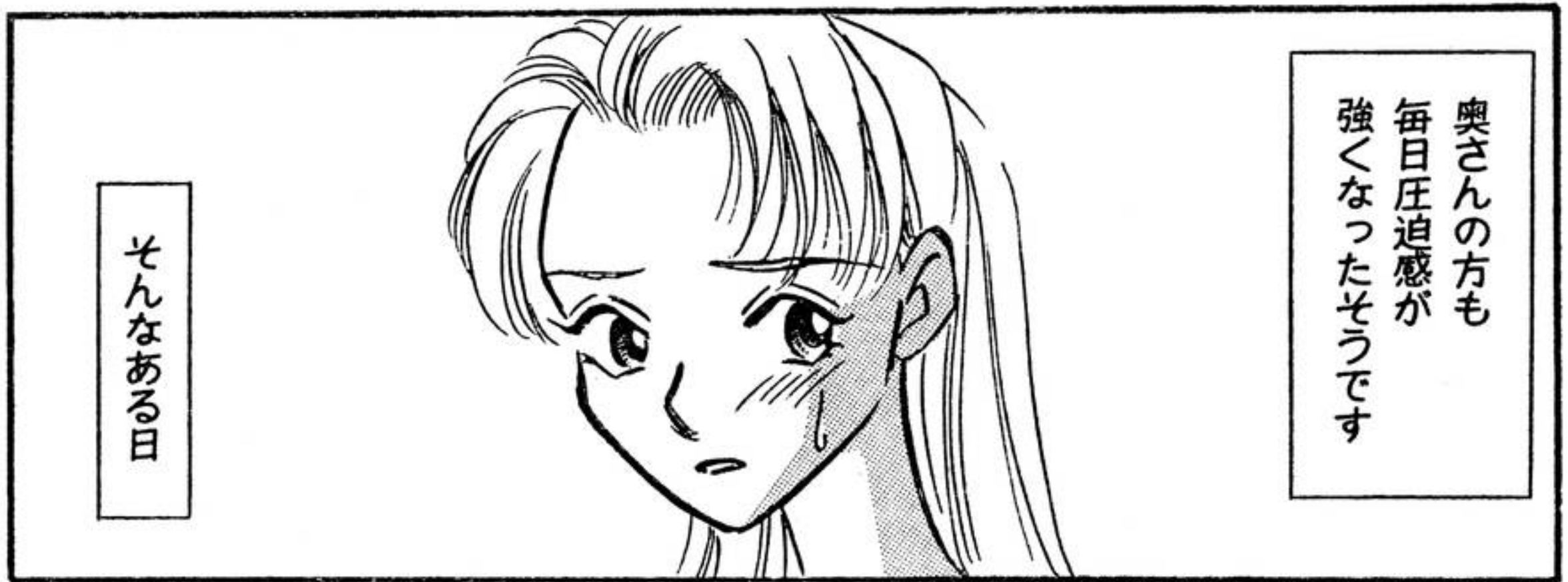


な...何?
部屋の
空気が重い

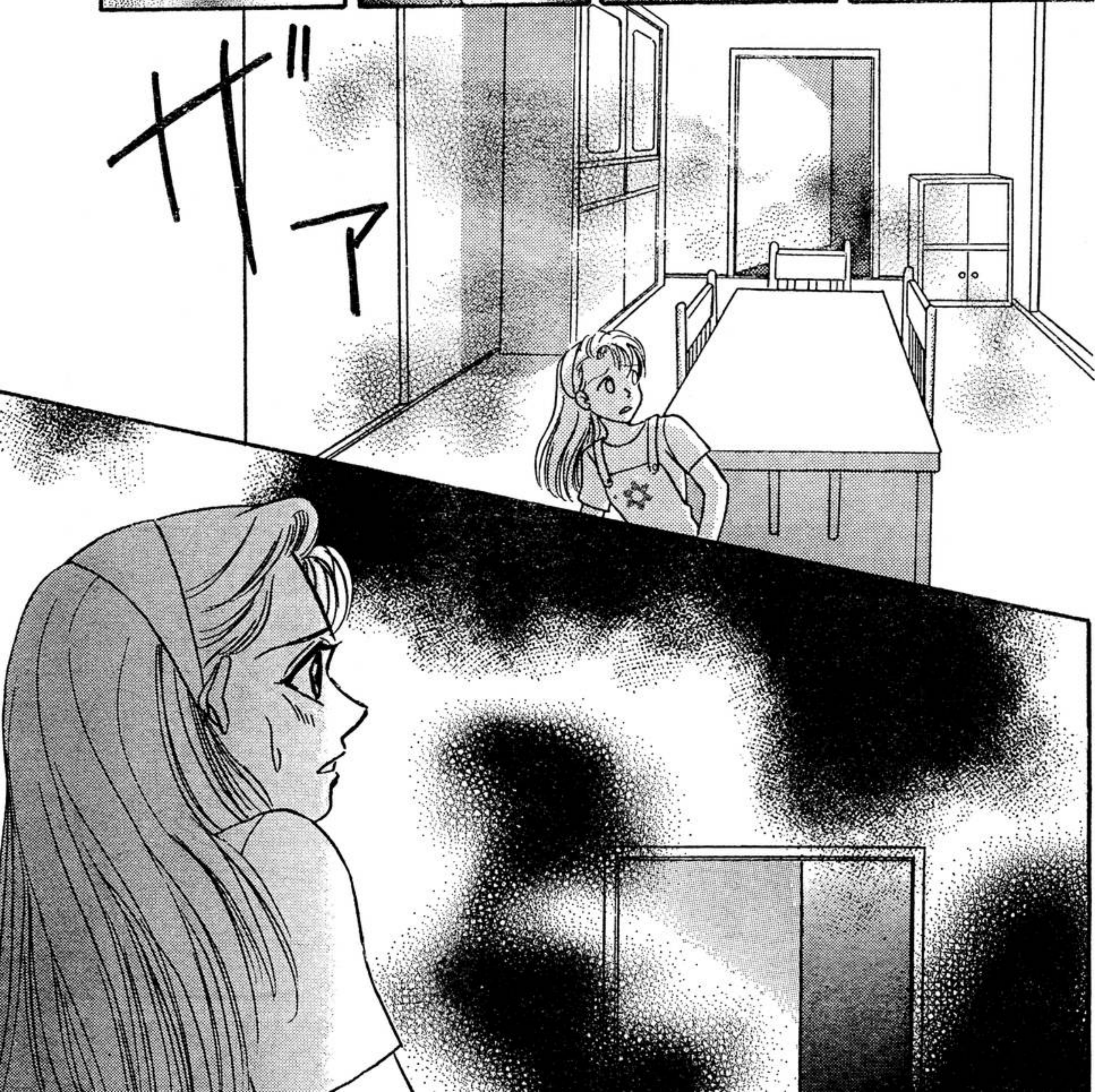
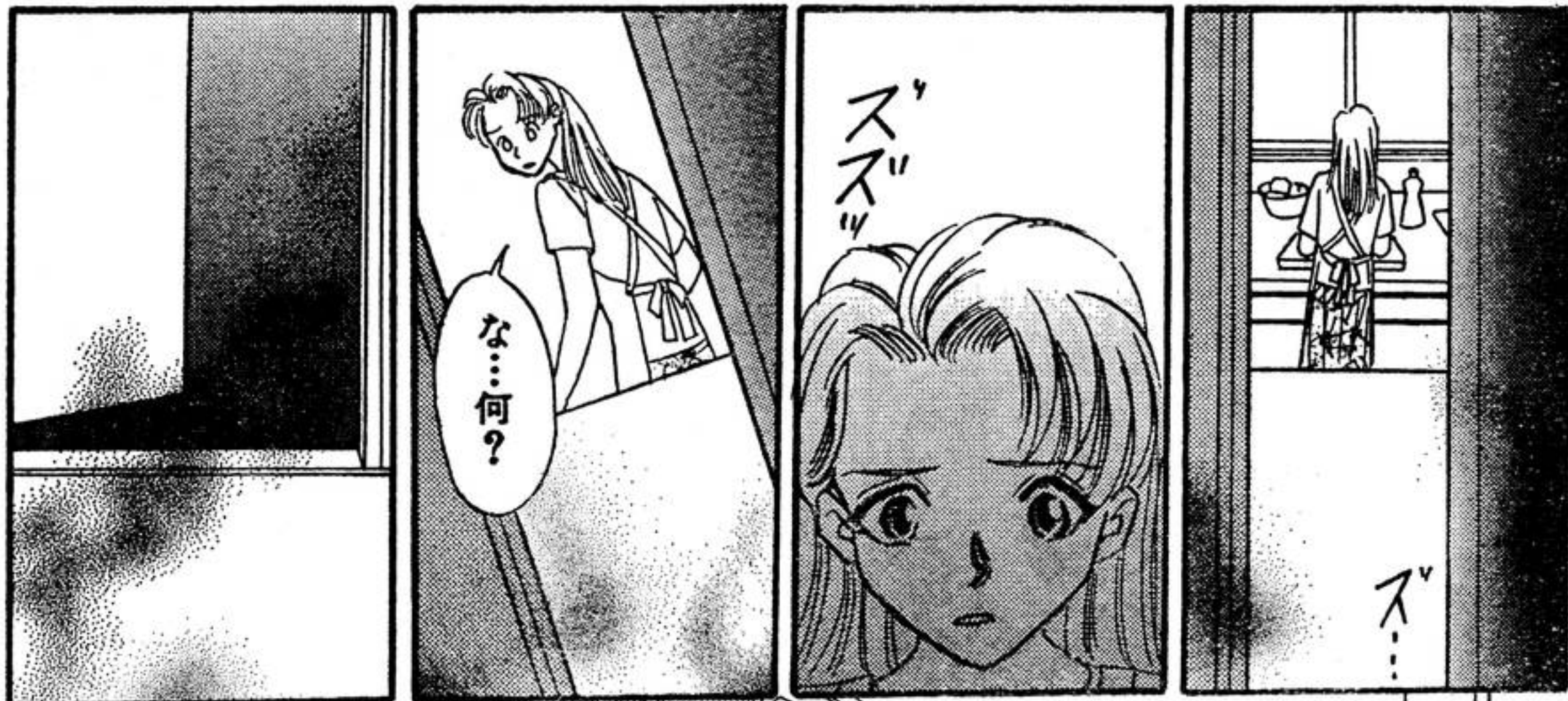


あなた
この部屋
おかしくない?

なんかすごく
重圧感を感じ
るっていうか



誰かが棲んでいる





うわーん!!

かずゆき
和之!!

それはいつも
感じるあの
圧迫感が

ドアから流れ
込んでくるような
感覚だったそうです



息子さんは居間で
うたたねをしていた
のですが、この時の
おびえようは尋常では
なかったそうです

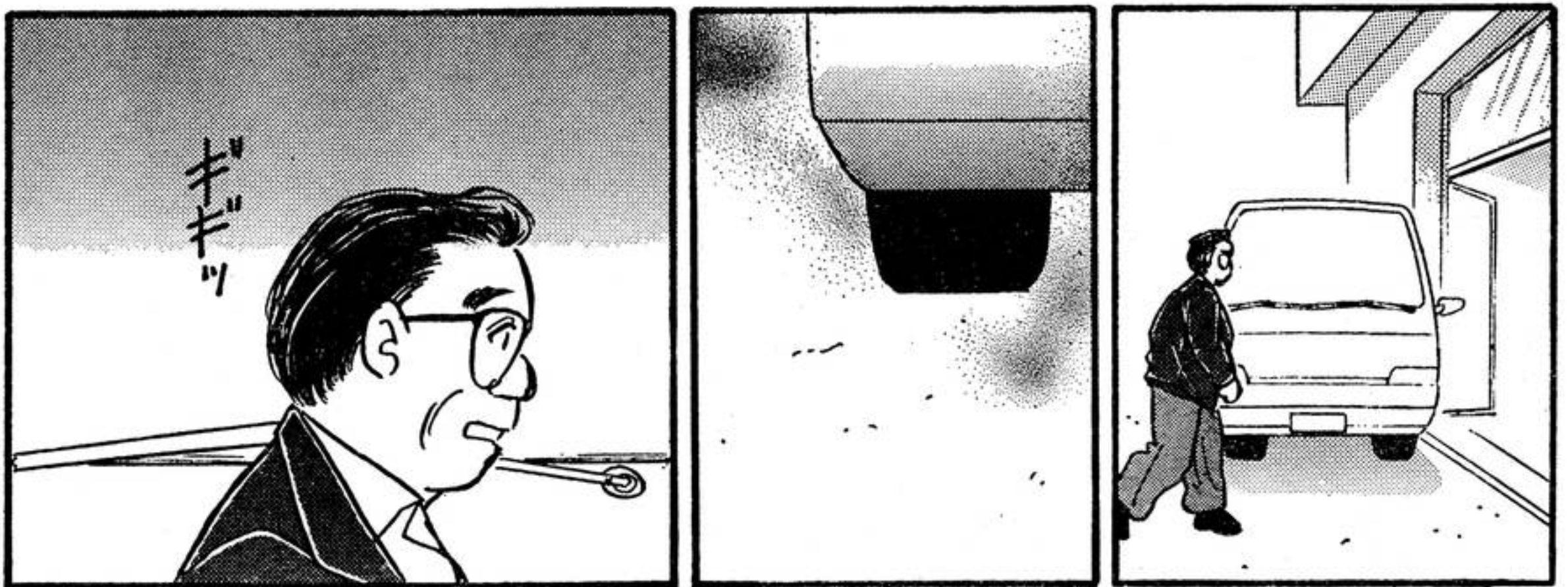


どうしたの
—和之!!

怖いよー
怖いよー



こんなことが続き
奥さんはすっかり
まいってしまいました





サイドブレーキの
引き忘れによる
事故ということ
でした

ただの偶然と
言ってしまうえば
そうなのかもしれ
ませんが

山中さんはその事故で
生死の境をさまよ
いなんとか命はとりとめ
たものの、いくつかの
障害は残ってしまい



誰かが棲んでいる

はっきりとした理由は聞いていませんが事故から間もなく

弟さん夫婦は事務所二階の部屋を引きはらい故郷へ帰ったそうです

正直これまでのことの原因があの祠なのかどうか私にはわかりません

でももし本当にあの祠が原因なのだとしたら

いったい何が棲んでいたのでしょうか

ギ
ギ



そして「棲む」と
言えばもう一つ

それは私が結婚して
新居に引っ越した
頃のことです

結婚前別々に
一人暮らしをしていた
私達は結婚を機に

新しいアパートに
引っ越すことに
したのですが

仕事の都合で
夫が先に引っ越し

後から私が
引っ越すことに
なったのですが

そして荷物も
かたづけ

なんとか普通に
生活ができる
ようになった頃

